

# 上富岡倶楽部

2015.3  
vol.6

長岡技術科学大学同窓会報

## 縦糸と横糸で伝統を紡ぐ

長岡技術科学大学名誉教授 丸山 久一



昨年（2014年）3月に長岡技術科学大学を退職いたしました。1979年2月に赴任しましたので、35年間の長きにわたりお世話になったこととなります。本学の開学が1976年10月ですので、最初に授業を受け持った時、第1期生が3年生、工業高等専門学校からの最初の編入生も3年生でした。開学時からという訳ではありませんでしたが、私の人生のスタートは、本学のスタート、学生のスタートとほぼ同時期で、大学や学生の歴史がそのまま私の歴史になっています。

振り返ってみますと、多くの先輩や同僚、さらには後輩から教えられ、支えられて今日に至ることができたと強く感じています。若い頃には頭だけで理解していた古人の教えや格言が身に染みて分かる年代になったことも実感しています。古典を改めて読んで、500年前、1000年前の人々が思ったであろうことにも何となく同感できることもあります。長い時間の経過の後には、社会環境や生活環境は大きく違ってきますが、人々の思い、思うに任せないときの怒りや哀しさ、望みが叶ったときの喜びや得意は、いつの世も変わりがないように感じます。

本学の第一期卒業生・修了生も50代の半ばを越え、社会のいろいろな分野でリーダーとして活躍しています。勿論、それに続く卒業生・修了生の活躍も素晴らしく、本学の教育研究のあり方、独創性が着実に社会に浸透しています。開学後の初期の頃には、産業界においてさえ本学の名前を正しく言える人が非常に少なく、歯がゆい思いをしたのが昨日のこのように思い出されます。100年を超える伝統のある大学に立ち向かうにはどうしたらよいか悩んだこともありました。

長い歴史があり、伝統のある大学の強みは、校風に裏付けられた同窓生の連携です。一人一人の努力の積み重ねは勿論必須の条件ですが、陰になり日向になって支えている

のは“母校”を通じた心の結びつきです。普段は生活の範囲の人々との交流で日々を過ごしていますが、その外側にも多くの同窓生がいて、何かの折に触れ合う機会があり支援の輪が広がります。

私たちの生き方の基盤を形づくるのは若い時期、それも社会に出る前の時期です。この時期にはお互いに利害関係がほとんどなく、勉学や倶楽部活動、サークル活動等で苦楽を共にした仲間是一生の友となります。社会人となって職場が異なっても同級生の結びつきが強いのは当然です。それに比べて、学年の前後あるいは時代が異なる同窓生の間では、同級生ほどの強い連帯感は生まれにくいのですが、若い一時期を過ごした学舎や恩師を通じてある種の価値観を共有しています。見た目にはよく分からないのですが、同窓生ということは国内外を問わず社会の人間関係の中で大きな影響力を持っています。

私自身、博士課程は米国のテキサス大学で過ごし、学位を頂きました。そのことが日米のコンクリート工学会で新たな連携事業を始める上で非常に役に立った経験があります。米国側の担当者が偶然にもテキサス大学で学位を修得していて、しかも指導教員まで私と同じでした。私の方が十数年先に卒業していましたが、共通の話題で話が盛り上がり、お互いをファーストネーム（ニックネーム）で呼び合うこととなって、語学力とは関係なく意思の疎通が非常にスムーズにいました。

同窓会を運営するのは、必ずしも楽ではありません。多くのボランティアの仕事なので、相当の熱意がないと続きません。しかし、同窓会がしっかりしていることで、卒業生のみならず、大学および大学に在職している教職員との連携が図られ、社会的にも認められるのです。

同窓会のより一層の発展を祈ります。

# 「第3回 復活！開学記念マラソン大会」を開催しました

## 大会報告

同窓会理事 芳賀 仁 (2004年8月 エネルギー・環境工学専攻修了)

同窓会では、平成24年から「復活！開学記念マラソン大会」と題してマラソン大会を企画しています。過去に、クラブ連絡会が中心になって、開学記念日（10月1日）に企画していた「開学記念マラソン大会」のトリビュート企画とお考えください。平成26年9月27日に第3回大会を開催しました。当日は、マラソン競技だけでなく、参加者のご家族や友人にも本行事を楽しんでいただけるよう、体育保健センター前に、ふわふわドームと縁日コーナーも企画しました。地域の皆様にも楽しんでいただき、技大そして同窓会に親しんでいただけるような行事を目指しています。

マラソンコースは、親子、小学生を対象にした2kmコースと、一般向けの5km、10kmをそれぞれ大学周辺に用意しました。大会運営は同窓会役員に加えて、学生、教職員にもボランティアとしてご協力をいただいています。コース上に誘導員と給水ポイントを配置して安全確保を行い、のほり、気合を注入する立て看板などを設置して大会を盛り上げています。

当日は、お天気にも恵まれて新原学長によるスターター号砲のもと、参加者一斉にスタートしました。登り下りのきついコースにも関わらず、沿道の方々の力強い心温まるご声援を受けながら、全員が無事に完走を成し遂げ爽やかなゴールの瞬間を迎えることができました。マラソンを通じて、苦楽を共にした仲間と一緒に、お世話になった母校周辺や懐かしい近隣地域を走り、汗を流して、お互いの健康を喜び合うこともできたと思います。

ゴール後は、用意した軽食（おにぎり、トン汁）を食しながら中庭で談笑している爽やかな光景が印象的でした。表彰式では、各コースの上位入賞者に賞状と副賞が渡されました。また、参加者全員に参加賞（賞状、メダル、スポーツタオルなど）も配られました。

同窓会が主催になってマラソン大会を企画している例は少ないと思います。これもひとえに学生時代に培った『VOSの精神』の賜物と思っております。

さて、次は、何を復活させましょう。駅伝、運動会、相撲大会、技大プロレス……。楽しみです。

### 参加者

- ・2kmコース：52名
  - ・5kmコース：43名
  - ・10kmコース：84名
  - ・スタッフ協力者：74名
- (地域からの参加お申し込みは53名ございました)

### 大会成績

#### 2km

- |    |                |        |      |
|----|----------------|--------|------|
| 1位 | 福崎 温 (地域の方 小6) | 8' 02" | ※大会新 |
| 2位 | 福崎満夫 (地域の方)    | 8' 16" |      |
| 3位 | 市村勝己 (地域の方)    | 8' 20" |      |

#### 5km男子

- |    |           |         |
|----|-----------|---------|
| 1位 | 清水孝史 (B2) | 17' 18" |
| 2位 | 鈴木悠馬 (B3) | 17' 34" |
| 3位 | 田中教雄 (OB) | 17' 59" |

#### 5km女子

- |    |                 |  |
|----|-----------------|--|
| 1位 | 田中亜希子 (OBご家族)   |  |
| 2位 | 遠藤寛子 (教職員)      |  |
| 3位 | 佐藤日向子 (地域の方 中2) |  |

#### 10km男子

- |    |             |         |      |
|----|-------------|---------|------|
| 1位 | 臼井貴之 (地域の方) | 31' 54" | ※大会新 |
| 2位 | 野本竜之介 (M1)  | 37' 43" |      |
| 3位 | 北原 一 (地域の方) | 38' 37" |      |

#### 10km女子

- |    |               |         |      |
|----|---------------|---------|------|
| 1位 | 大野彩佳 (教職員ご家族) | 43' 36" | ※大会新 |
| 2位 | 鶴岡夏海 (M1)     | 48' 35" |      |
| 3位 | 大桃信子 (教職員ご家族) | 55' 00" |      |



## マラソン大会の感想

**野本 竜之介**（電気電子情報工学専攻1年）

この度は同窓会報の寄稿をご依頼していただきありがとうございます。今回は昨年9月に本学で行われたにマラソン大会について書かせていただきます。

この「復活！開学記念マラソン」は私が入学した3年前から開催された大会で、私は第1回から毎年出場させてもらっています。私は元々高専時代陸上部であり、ただ単に走ることが好きという理由で第1回目の5kmに出場しました。会場は在校生、留学生だけでなく地域住民や卒業生の方々のご家族で溢れ、終始とても賑やかな印象でした。私は走り終えた後、このような地域住民や卒業生の方々とふれあいの場にしていきたいと感じました。私は学内のパフォーマンスサークルに所属しており、そこで普段からコスプレを嗜んでいたため、翌年の2回目のマラソン大会はももクロのしおりんのコスプレをして5kmに挑みました。誰よりも速く走り、目立ち、そして人々との交流の場を持てればと思ったためです。コスプレのおかげで会場の子供たちからは人気者になることができ、また5

kmの折り返し地点からすれ違う多くの走者とハイタッチを交わし、マラソン大会をより一層楽しむことができました。

そして去年の第3回目のマラソン大会では初の10kmにセーラーヴィーナスのコスプレで挑戦しました。10kmのマラソンは経験がありませんでしたがコースの景色はとても良く、疲れを感じませんでした。途中の大会スタッフやすれ違う地域住民の方で応援してくれている人々も多く、とても気持ちよく走りきることができました。第1回目から10kmを走っていればよかった、と思うほどです。走り終えた後はマラソン以上に疲れるほど子供たちと遊び、また去年よりもたくさんの人から声をかけてもらったりして非常に良い思い出になりました。

このマラソン大会は在学生だけでなく留学生や卒業生、地域住民の方々が交流することのできる非常に素晴らしいイベントだと思います。この同窓会報を読んで来年以降もより多くの卒業生の方々が「復活！開学記念マラソン」に参加し、在校生や地域住民の方々と長岡技術科学大学を盛り上げてもらえたら幸いです。



選手宣誓



セーラーヴィーナスのコスプレで走りました



一斉にスタート



完走後のおにぎり、とん汁

# イベント報告

## 資生堂メイクセミナー

同窓会理事補 田辺 里枝 (機械系・助教)

同窓会では学生支援事業の一つとして、女子学生の皆さんを対象としたメイクセミナーを毎年開催しております。今年度は6回目の開催でしたが、毎回約30名の女子学生が参加しています。女子同士で大勢集まる機会が乏しい本学において、メイクセミナーはとっても珍しい光景です。

本セミナーは、長岡技術科学大学にご共催いただき、株式会社資生堂から講師をお招きして開催しています。セミナーは、写真をご覧いただいて分かるように、講師の話を聞きながら、質問をしながら、メイクを実際に自分でやる体験型です。就職活動や新社会人となってからも役立つよう、派手なメイクではなく、メイクの基礎、テクニックなどを教えて頂いております。メイクは自己流という人も多く、アンケートの自由記述欄には、

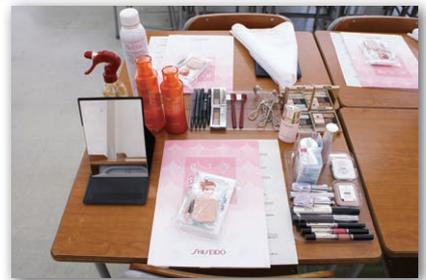
「知らない知識だらけだったし、実際にメイクをできて良かった。」

「化粧水や乳液のつけ方などすごく勉強になりました^▽^」

「ちゃんとしたメイク術を教わったことがないため、とても役に立った。」



などの感想が寄せられ、大変嬉しく思いました。セミナーで学んだことが、皆さんの生活の中で役に立てば幸いです。



## 技大祭報告

技大祭実行委員長 木村 文哉 (生物機能工学課程4年)

こんにちは。第34回技大祭実行委員長を務めました木村です。今年度の技大祭について報告します。

今年度の技大祭は9月13日、14日に開催され、「虹」をテーマにして、地域の方々との交流の場とすることを目指しました。初日の悪天候にもかかわらず3500人近くもの方々足を運んでいただき、今年も大盛況で終えることができました。

非常に好評であった今年度の技大祭ですが、その内容がどのようなものだったのか、ご紹介させていただきたいと思います。まず大学各所で開かれた模擬店、サークルによる演舞など、学内の参加者による多数の企画が開催されました。特に、留学生会による「国際祭り」で開かれた、各国の郷土料理を振舞う模擬店や伝統的な演舞などは非常に好評でした。他にもギダイジャーによるヒーローショーなどのステージ企画や、遊べるフレンドパークなど、大人だけでなく子どもにも楽しめる企画が多数開催され、多くの家族連れにも楽しんでいただきました。くわえてゲストとして今年はお笑い芸人のガリガリガリクソンさんをお呼びし、来場者の方には大いに楽しんでいただくことができました。また、教職員の方々にご協力いただいた「研究室公

開」や、Microsoft社の西脇氏による「講演会」など、技大の特色を活かした学術系の催し物もありました。さらに川口町の方によるピザの販売やプロによるたこ焼きの移動販売、押し花教室、能の披露など、地域の方にもご協力いただきました。今年度の技大祭も多数の方々のご協力によって、終えることができました。

さて、この技大祭の開催にあたりまして、同窓会からは同窓会費という形でお力添えをいただきました。各種企画の充実などの運営費に充てさせていただき、お蔭様で無事に技大祭を終えることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

次回、第35回技大祭は2015年9月12日、13日開催の予定となっております。もしお時間の都合が合うようでしたら、ぜひとも足を運んでいただけると幸いです。次年度も楽しんでいただけるよう多くの企画を用意し、実行委員一同心よりお待ちしております。



## 大学近況

### 電気系パワー研近況

生駒 裕文（電気電子情報工学専攻1年）

こんにちは。平成26年度パワー研幹事を務めさせていただきました生駒裕文です。長岡技大で数ある研究室の中で、古くからある研究室のご紹介ということで簡単ではありますがパワー研に関して述べさせていただきます。パワー研は、電気系でパワーエレクトロニクスの研究に従事している4研究室の総称です。その歴史は長く、1978年に技大が創立された当初から研究活動を行っております。創立当時は石崎先生、難波江先生、高橋先生、赤木先生といった日本のパワエレを引っ張ってきた先生方がいらっしゃいました。現在は、近藤研究室、大石研究室、伊東研究室、宮崎研究室の4研究室で構成されています。研究内容は系統連系、マルチレベル、DCDC、高周波回路、モータ制御、産業用ロボットの制御、モーションコントロール、メカトロニクスと多岐にわたって研究を行っております。総勢100人近くの学生が在籍しており、研究室間の枠を越え、苦楽を共にした仲間たちとともに、行事の際には楽しく酒を飲む、そんな生活を送っております。

私は、パワー研幹事として1年間を過ごしてきました。そこで得たものとは「絆」だと思います。ありがちな答えですが、大切なことだと改めて感じています。前述したとおりパワー研は4研究室の垣根を越えてゼミに研究報告にイベント行事に全力を注いでいます。多岐に渡って研究を行っているため回路でわからないことがあれば近藤研と伊東研の学生に聞けばわかるし、制御でわからないことがあれば大石研や宮崎研に聞けばいい。イベント行事では各自役割を決めて作業を進めている姿を見て支え合って僕たちは生きていくと改めて実感しました。個性が強いメンバーばかりでぶつかることも時にはありますが、とてもいい仲間たちに恵まれたと思っています。最後に高橋勲先生によるありがたい発明の百訓の1つで締めくくりたいと思います。“人脈を作るには酒が一番。”



### 「食堂の近況」

国内フードサービス㈱ 池田 正人

同窓生の皆様に於かれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。

私達食堂では少しでも学生ならびに教職員の皆さんの健康や食生活を応援出来る様に心掛けております。この場を借りて、食堂の最近の様子についてご報告したいと思います。

まず、通常営業日においては、学生さんの為に「180円朝食」の提供を始めました。夕食も1時間の延長営業により、沢山の方にご利用いただいております。

「今日の焼き玉丼最高だった。」「油そば美味しい」「朝食を食べる様になって頭の回転がいいんだよね。」「夜も8時までやってるから助かるよ。」等色々なご意見を頂戴致しました。

日々、皆さんのご意見を基にして、もっと美味しいご飯

を提供できる様に日々努力しております。

通常営業以外にも、学生ならびに教職員の皆様には、食堂を各種行事でご利用いただいております。4月にはお花見、10月のハロウィン、12月のクリスマス等、食堂での楽しいイベントが行われています。特にハロウィンのサービスイベントでは仮装が大変上手な学生さんが居て盛り上がっています。

同窓生の皆さんは、社会に出てから色々大変な事等あるかとは思いますが、これからも生きがいを持って世界に羽ばたいて下さい。夢や希望を是非実現させて下さい。何かにつまずいた時はもう一度原点に帰って考えてみて下さい。

そして、たまには食堂にも懐かしい学食を食べに来て下さいね。

食堂スタッフ一同いつでもお待ちしております。



## 会員寄稿

### 「長岡技大で得たもの・繋げていくもの」

日本ケミコン株式会社  
田本 誉 (電子機器工学専攻 平成16年3月修了)

この文面を御覧になられています同窓生、在校生の皆さん、初めまして。

今回、光栄にも寄稿の機会を頂き、長岡で過ごした頃から現在までを振り返り思うことや感じることを書かせて頂ければと思います。しばしの間、いたらない文章ですがお付き合い下さい。

現在、私は福島県で日本ケミコンという電子部品（コンデンサ）メーカーに所属し、大型アルミ電解コンデンサの設計・開発に従事しております。

新潟県は隣県ということで車なら長岡まで3時間程度の距離にあり、卒業後も技大祭には毎年参加させて頂くほど頻りに訪れています。

私が現役時代に懸命に取り組んだものが実戦空手道部の稽古なのですが、その日々は自分の人間性のほとんどの部分を形成したといっても過言ではありません。日々の稽古もさることながら夏合宿・演武会・昇級審査といった特に厳しい稽古では苦境や逆境に負けない強さを、稽古後の宴席ではさつきまでそんな厳しい稽古をしていたのかという程ワイワイ騒がしくも楽しい時間を過ごし、様々な年代の先輩・後輩の方々と接しながら気持ち良い人間関係を築く上での作法・協調性・柔軟性の様なものを頂いたと感じています。

大学生というのは望めば楽しいことだけを追求できる時期でもあります。そこにあえて辛く苦しい経験と人間的に強くなる場を持たせたことは大切な財産です。

実戦空手で得たものは研究室での活動やコミュニケーションにも当然生かされましたし、卒業と同時に消えるものではなくむしろ社会人になってから一番の支えや武器になっています。今後もOBとして携わる中で後輩へ還元できればと思いますし、私自身も再確認する大切な機会にできればと思います。

最後に、新潟県と福島県は互いに大きな地震を経験し、懸命に復興の歩みを進めてきた共通体験があります。東日本大震災が起こった当時、新潟県はもちろん長岡技大からも大変な支援を頂き、私自身お世話になる機会もあり感謝しております。

震災から4年経とうとしておりますが、福島県のみならず東北は未だに完全復興に至らない状況が続いておりますが、長岡技大で得たものや今も変わらず繋がる人達との絆を糧に自分の日々の頑張りや復興の何かしらの助けになるものと信じて日々の与えられた役割を果たしていければと思います。



「実戦空手道部」

### 「今に生きる大学生活」

株式会社富士ピー・エス  
正木 守 (建設工学専攻 平成18年3月修了)

長岡技術科学大学の在学・同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。大学を卒業し、現在の会社に就職して間もなく10年目を迎えようとしています。私が勤務する会社は、プレストレストコンクリートを専門とする建設会社で、橋梁の施工、プレキャスト建築部材の製造等を行っています。私は入社後2年間工場において品質管理業務に従事し、その後、研究開発・メンテナンス業務を行う部署に異動して現在に至ります。入社後9年経過した現在でも、入社当時の上司に教わった言葉を鮮明に思い出します。

「入社して10年までは会社の金で勉強させてもらっていると。10年目からは利益を上げて会社に貢献しろ」

果たして今の自分は利益を上げられるほどに成長できたかはわかりませんが、10年目を迎えようとする今日、今まで以上に身を締めつけて業務に臨まなければと感じています。

さて、大学時代のことを思い出しますと、高校までを福島の片田舎で過ごし、部活動に追われる毎日を通り越して自分にとって、すべてが新鮮でありました。今まで経験したことのない学習システム、全国各地の全く違う環境で成長してきた仲間たち、初めての一人暮らし、5歳も年上の先輩方と一緒にサークル活動、さらにはその後のお

酒を嗜む会。それらの一つ一つが貴重な思い出であり、今に生きる大切な経験でもあります。

大学で学んだことをそのまま生かすことができる仕事に就くことはなかなか難しいと思いますが、私の場合、大学で学んだ「コンクリート」がそのまま現在の業務となっています。それだけに、もっと勉強しておけばよかったと後悔することもしばしばです。共に学んだ仲間達からは、資格取得や自分の技術レベルの向上において良い刺激をもらっています。一人暮らしで培った家事力は、共働きの我が家において欠かせないものとなりました。そして、サークル活動でお世話になった先輩方や後輩達は、今でも連絡を取り合う友人であり、時には私生活において良き相談相手にもなってくれます。その先輩方に鍛えられた肝臓は、ここ最近每晚のように活躍中です。

こうして文字にすることで、大学生活が自分にとっていかに貴重な時間であったかを再認識することができました。このような機会をいただいたことを感謝するとともに、在学時代の皆さんが、将来に生きる貴重な経験をして卒業されることを心よりお祈りいたします。



「毎年開催されるサークルOB・OG会」

## 「次の20年を見つめる」

東日本電信電話株式会社  
松本 裕 (生物機能工学専攻 平成7年3月修了)

本学での学びを終えてまもなく20年を迎えようとする節目に、このような寄稿の機会をいただき、ありがとうございます。本学で学んだ20年前を振り返って書かせていただきたいと思います。

私は本学に進学する前は、関西の高専で電気工学を学んでいました。本学への進学を志した理由は、新たに学科が設けられた生物機能工学という分野にフロンティアを感じたこと、そして当時はバブル経済で世の中が浮かっていた時代でしたので、都会の大学に進学したら遊んでしまいそうだったことでした。在学中、最大の出会いは「日本酒」でした。よくもまあ、飲んだこと、飲んだこと。4年時に企業へ派遣される実務研修では酒蔵を希望して連日酒造りに励んだ程です。この時の経験は今でも私の大きな財産になっています。日本酒の製法は自然と技術が協調した伝統的なバイオテクノロジーです。少々大袈裟かもしれませんが、科学技術と人間の関係についてじっくりと向き合うことが出来た貴重な時間だったように思います。

その後、大学院を修了し、就職では情報通信業界へ飛び込むことになりました。バブルが崩壊していく中、情報通信

業界はこれから成長が見込まれるフロンティアだと思ったからです。この年はマイクロソフト社のWindows95が発売された年でした。その後インターネットや携帯電話が急速に普及し、この20年間で日本人のライフスタイルに大きな変化をもたらしました。一見すると、本学で学んだ生物機能工学を情報通信業界でどう活かすことができたのか疑問に思われるかもしれませんが、工学という学問の本質や、日本酒を通じて学んだテクノロジーと人間の関わりは、普遍的な考え方として私の20年間の基盤となるものだったと思います。

現在、本学で学んでおられる皆さんにとって、20年後はどのような社会になっているのでしょうか？日本は人口減少時代を迎え、政府は政策の柱として地方創生を掲げています。海外に目を向けると、中国を始めとするアジア各国が台頭し、新しい経済の枠組みが模索されています。テクノロジーは人間の生活を豊かにし、役に立つものでなくてはならないと思います。これからの社会の様々な課題の解決のために、テクノロジーはますます重要なものとなるでしょう。本学で学ばれる皆さんには、悠久の信濃川を眼下に見据え、じっくりと物事の本質に向き合い、そして未来を考える貴重な時間を過ごされることを心から願っております。

## 「技大を卒業して、現在感じていること」

株式会社IHI  
菅間 良太 (材料工学専攻 平成24年3月修了)

同窓生、在校生の皆様にはご健勝のことと存じます。私は機械系岡崎研究室を平成23年度に卒業し、現在の会社に就職し、航空宇宙分野の生産技術に関する業務に従事しています。

私の担当業務は世界の他メーカーと競争できる次世代生産技術の開発です。私の仕事の最も面白い部分は、ものづくりの上流から下流に至るまで、すべての工程に携わることができることです。諸先輩方がご存じのとおり、企業では、お客さまの引き合いからはじまり、製品の企画設計、性能評価、お客さまに製品を届け、その後のアフターサービスの領域までを一貫して携わることはまれです。技術が製品になり、お客さまのお役にたてるまで面倒を見られることは技術者として大きな経験になっています。

一方で、工場の現場の方がより安全に製品を作るお手伝いをしているという意味では、社内の方々も私にとってはお客さまです。日々、社内外のお客さまからのお声を聴き、より良い技術を見だし、お客さまに使っていただけるよう、勉強の毎日を送っています。

社会人になりもうすぐ4年目です。まだまだ至らぬ点が多く、失敗をすることもありますが、学生時代とは異なり、失敗を俯瞰的に捉えられるようになりました。失敗そのものを後悔するのではなく、なぜ失敗に至ったのか、ど

こで別の選択をするべきだったかを反省できるようになってきました。

また学生の時とは違い、他者からの視線を強く意識できるようになったことが最も大きな成長であると自己評価しています。自分のなすべき役割を考えることが日々の成長につながっています。

これらの成長の中で、自分の勝負どころはなんだろうと考えると、“VOS”というものの重みに気づかされました。私の在籍していた研究室は体力的にも精神的にも厳しいところでしたが、その中で学んだVOSの精神は30歳を迎えて重みを感じるものとなりました。年と共に体力は衰えていくでしょうが、これからも気概を持って (Vitality)、自分にしかできない方法で (Originality)、奉仕の心 (Services) でこれからも成長し、社会に貢献していきたいと願っています。

昨年生まれた息子も無事に1歳を迎え、この頃は自我というものを感じる機会も増えてきました。私も不惑に向け、家族とともに成長していきたいと思っています。

最後に寄稿の機会をいただきましたことと、編集委員の方々には厚く御礼申しあげます。



「自宅から望む冬の富士」

## ●平成25年度 会計報告

## 1. 一般会計収支 &lt;自：平成25年3月1日～至：平成26年2月28日&gt;

## ■収入

科目	金額 (円)
入会金	7,416,000
積立金の取り崩し	0
雑収入	243,000
前期繰越金	15,417,907
合計	23,076,907

## ■支出

科目	内 訳	金額 (円)
事業費	通信・運搬	54,342
	広報費	4,187,720
	助成・貸与	6,238,305
	活動経費	1,584,583
事務費	会議費	26,665
	雑費	121,847
新規積立		0
次期繰り越し		10,863,445
合計		23,076,907

## 2. 積立金会計収支 &lt;自：平成25年3月1日～至：平成26年2月28日&gt;

## ■収入

科目	金額 (円)
前期繰越額	52,208,106
新規積立	0
合計	52,208,106

## ■支出

科目	金額 (円)
積立金の取り崩し	0
次期繰越額	52,208,106
合計	52,208,106

2014年3月8日  
会計担当 幡本 将史2014年3月8日  
会計監査 熊倉 清一  
山田 昭博

## ●平成26年度 会計報告

## 1. 一般会計収支 &lt;自：平成26年3月1日～至：平成27年2月25日&gt;

## ■収入

科目	金額 (円)
入会金	6,438,060
積立金の取り崩し	0
雑収入	260,651
前期繰越金	10,863,445
合計	17,562,156

## ■支出

科目	内 訳	金額 (円)
事業費	通信・運搬	52,019
	広報費	60,480
	助成・貸与	3,561,784
	活動経費	2,671,053
事務費	会議費	33,400
	雑費	396,110
新規積立		0
次期繰り越し		10,787,310
合計		17,562,156

## 2. 積立金会計収支 &lt;自：平成26年3月1日～至：平成27年2月25日&gt;

## ■収入

科目	金額 (円)
前期繰越額	52,208,106
新規積立	0
合計	52,208,106

## ■支出

科目	金額 (円)
積立金の取り崩し	0
次期繰越額	52,208,106
合計	52,208,106

2015年2月28日  
会計担当 幡本 将史2015年2月28日  
会計監査 熊倉 清一  
山田 昭博

## ●平成27年度 会計計画

## 1. 一般会計収支 &lt;自：平成27年2月26日～至：平成28年2月29日&gt;

## ■収入

科目	金額 (円)
入会金	7,000,000
積立金の取り崩し	0
雑収入	200,000
前期繰越金	10,787,310
合計	17,987,310

## ■支出

科目	内 訳	金額 (円)
事業費	通信・運搬	100,000
	広報費	3,000,000
	助成・貸与	3,000,000
	活動経費	1,000,000
事務費	会議費	100,000
	雑費	150,000
新規積立 (積立金会計へ)		0
予備費		500,000
次期繰り越し		10,137,310
合計		17,987,310

## 2. 積立金会計収支 &lt;自：平成27年2月26日～至：平成28年2月29日&gt;

## ■収入

科目	金額 (円)
前期繰越額	52,208,106
新規積立	0
合計	52,208,106

## ■支出

科目	金額 (円)
積立金の取り崩し	0
次期繰越額	52,208,106
合計	52,208,106

2015年2月28日  
会計担当 幡本 将史2015年2月28日  
会計監査 熊倉 清一  
山田 昭博

## 編集後記

長岡技大は、平成28年に開学40周年を迎えます。この節目に向けて、グローバル化を見据えた留学生の増加など、大学内に変化がみられるようになってきました。同窓会の活動も、徐々に活発さを増しつつありますが、今後は在学中の留学生や海外で活躍する会員との連携などにも取り組み、海外での活躍を目指している在学生や卒業生への支援ができれば、と思っています。引き続き、会員の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 同窓会連絡先

## 長岡技術科学大学同窓会

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

電話/FAX 0258-46-5505 e-mail dosokai@vos.nagaokaut.ac.jp

同窓会 HP : <http://nagaokaut.alumnet.jp/>Facebook ページ : <http://www.facebook.com/NutAlumni>

住所・勤務先等に変更がございましたら、同窓会HPにてログインしていただき、登録情報の変更をお願いいたします。

長岡技術科学大学同窓会報 平成27年3月25日発行

この同窓会報は環境にやさしいFSC™森林認証紙を使用しています。



(13000)